

---

『ジェネリック医薬品』と  
『かかりつけ薬局及び健康サポート薬局』に  
関する県民が受け入れやすい情報提供」の研究

---



徳島県保健福祉部薬務課  
平成30年3月

# I はじめに

## ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品は、後発医薬品とも呼ばれ、先に開発されたいわゆる先発医薬品（新薬）の特許が終了した後に、製造販売され、先発医薬品と同一の有効成分を同一量含み、その先発医薬品と「品質、有効性、安全性が同等である」と、国の承認を受けた医薬品。

ジェネリック医薬品は、先発医薬品に比べ、研究開発に要する費用と時間が抑えられることから、先発医薬品より低価格。（先発医薬品の3～5割程度）

また、ジェネリック医薬品は、大きさや味が飲みやすく工夫されているものもある。

国は、「経済財政運営と改革の基本方針2017」（骨太の方針2017）において、「ジェネリック医薬品の使用割合（数量ベース）を2020年（平成32年）9月に80%以上」の目標を設定。

しかしながら、厚生労働省発表によるジェネリック医薬品の使用割合（数量ベース）において、徳島県は、平成25年度以降、全国最下位で推移。

○ジェネリック医薬品割合（数量ベース）（平成29年9月）現在

（出典：「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向（厚労省保険局調査課）」）

全国平均 69.6%

下位

順位	県名	数量ベース (%)
47	徳島	61.3
46	山梨	63.6
45	高知	64.4
44	東京	65.2
42	和歌山	66.5
42	大阪	66.5

上位

順位	県名	数量ベース (%)
1	沖縄	80.4
2	鹿児島	77.3
3	岩手	75.9
4	宮崎	74.6
5	島根	74.2

## かかりつけ薬局とは

かかりつけ薬局は、日頃から薬に関して何でも相談でき、どの医療機関で処方せんをもらった場合でも、必ず、そこに持って行き、薬の調剤を受けると決めた薬局。

近年、医薬分業が進み、地域における医薬品等の提供にあたり、「薬局」がこれまでも増して重要な役割を果たすようになったことから、平成27年10月23日、厚生労働省は「患者のための薬局ビジョン」を策定し、患者本位の医薬分業の実現に向け、全ての薬局を「かかりつけ薬局」に再編する道筋を提示。

また、かかりつけ薬剤師は、患者の服薬状況を一元的・継続的に把握し、指導等を行うとともに、患者情報に基づき、かかりつけ医に服薬情報等を報告し、必要な場合は疑義照会や処方提案等を行う薬剤師。

## 健康サポート薬局とは

国は、「かかりつけ薬局」に、地域住民による主体的な健康の維持・増進を支援する「健康サポート機能」を付加した「健康サポート薬局」を創設した。

健康サポート薬局とは、かかりつけ薬局の基本的な機能に加え、市販薬や健康食品に関することや、介護や食事・栄養摂取に関することまで気軽に相談できる、専門の研修を受けた薬剤師が常駐するなどの厚生労働省が定めた基準を満たす薬局。

平成28年10月から届出制度が開始され、平成30年1月31日現在の届出件数は、全国744件、徳島県15件。



厚生労働省基準適合  
健康サポート薬局

## 1 背景

近年、急速な少子・高齢化に伴い、医療費が国の財政を圧迫しており、日本人の健康と長寿を支えてきた医療保険の存続が危ぶまれている状況の中、誰もが安心して医療を受けることができる国民皆保険制度を持続可能なものとし、国民の生活の質の向上を図るためには、今後、国民医療費の増大を抑制していく必要がある。

平成28年度の国の概算医療費4兆1兆3000億円のうち、薬局で調剤された薬剤料が約5兆6000億円を占めていることから、医療費削減を実現するための施策として、この「ジェネリック医薬品」が注目されている。

## 2 調査の目的

ジェネリック医薬品の使用促進を図るためには、県民への周知により、正しい知識を普及し、理解を得ることが重要である。

また、薬を服用することは、病気の治療や予防のために重要であるが、一方、副作用等、患者にとってはリスクも伴うため、薬について正しい知識を得て、適正に使用するためには、薬局薬剤師による服薬管理や服薬支援が、より積極的に行われることが重要であり、そのため地域に密着した「かかりつけ薬局」及び「健康サポート薬局」についての周知も重要である。

そこで、「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」に関し、県民が受け入れやすい効果的な啓発方法（情報提供媒体）について検討する本調査を実施することとした。

## 3 調査手法

まずは、県民の考えるリスクやニーズを把握するためのアンケート調査を行い、行政が考えるリスクとの相違や県民が求める内容について情報整理する。その後、県民が受け入れやすい情報提供媒体として、その制作過程で県民や薬剤師などの専門家へ聴きとり調査を行い、広告を作成する。



## II 調査の進め方

---

- 1 「ジェネリック医薬品」と「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」について、薬に関するイベント等の機会を利用し、知りたいことや、利用しやすい情報提供方法について、アンケート調査を実施
- 2 アンケート調査結果を基に、情報提供用のフリップを作成し、量販店における薬に関する啓発キャンペーン等とあわせて、フリップの内容のわかりやすさについて、アンケート調査を実施
- 3 アンケート調査の結果を基に作成したフリップに対して、専門家（情報提供側）からの意見聴取
- 4 県民への調査結果や専門家からの意見をもとに、広告を制作

## III 調査方法及び結果

「ジェネリック医薬品」と「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」について、  
県民へのアンケート

---

### 1 調査方法

(1) 実施期間 平成29年8月～11月

(2) 対象（その1）

- ・平成29年度徳島県シルバー大学校学生  
鳴門校（平成29年8月3日）  
吉野川校（平成29年8月17日）  
東みよし校（平成29年10月18日）
- ・くすりと健康フェア来場者（平成29年9月30日）
- ・平成29年度健康サポート「薬剤師出前相談事業」参加者  
三好市東祖谷地区（平成29年8月27日）  
三好市三野町（平成29年8月27日）  
三好市池田町（平成29年9月8日）
- ・徳島大学及び徳島文理大学大学祭参加者  
徳島大学蔵本祭（平成29年10月8日）  
徳島文理大学山城祭（平成29年10月14日）

計428名

**様式1**のアンケート調査用紙を使用し、各会場で調査を実施。

(3) 対象（その2）

- ・オープンとくしまe-モニターアンケート 計182名

**様式2**のアンケート調査用紙を使用し実施

## ジェネリック医薬品と かかりつけ薬局、健康サポート薬局に関するアンケート調査

この度、徳島県では、「ジェネリック医薬品」と「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」についてわかりやすく情報提供するため、調査研究をすることにしました。

つきましては、県民の皆様が知りたいことや疑問に思うことをお伺いし、今後の取組みや施策に活かしたいと考えております。

なお、本アンケート調査のとりまとめ結果は、調査研究結果として公表されます。

今回の調査の趣旨に御理解いただき、御協力をお願いします。

徳島県保健福祉部薬務課

それぞれあてはまるものを○で囲んでください。

○ 性別 男性 ・ 女性

○ 年齢 20才未満・ 20代・ 30代・ 40代・ 50代・ 60代・ 70才以上

問1 「ジェネリック医薬品」を知っていますか。

- A 知っている
- B 言葉は聞いたことがあるが、どういうものか詳しく知らない
- C 知らない

問2 「かかりつけ薬局」を知っていますか。

- A 知っている
- B 言葉は聞いたことがあるが、どういうものか詳しく知らない
- C 知らない

問3 「健康サポート薬局」を知っていますか。

- A 知っている
- B 言葉は聞いたことがあるが、どういうものか詳しく知らない
- C 知らない

問4 「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」について知る手段として、あなたが利用したいものはどれですか。

(上位2つまで選んでください)

- A 新聞・雑誌
- B テレビ・ラジオ
- C ポスターやちらし
- D 県のホームページ
- E その他 ※具体的な内容を( )内に記入してください。

( )

問5 次の「ジェネリック医薬品」に関することで、あなたが既にご存知の内容はどれですか。(複数回答可)

- A 徳島県は、ジェネリック医薬品の使用割合が全国最下位
- B ジェネリック医薬品は先発医薬品と比較して低価格
- C ジェネリック医薬品は国の厳しい審査をクリアしている
- D ジェネリック医薬品の使用は、医療保険制度を次の世代に引き継いでいくことにも貢献する

裏面も御回答ください。

問 6 「ジェネリック医薬品」について、あなたが特に知りたいことはどれですか。  
(上位 2 つまで選んでください)

- A ジェネリック医薬品と先発医薬品との違い
- B ジェネリック医薬品の安全性
- C ジェネリック医薬品のメリット
- D ジェネリック医薬品を使ってみたい時どうすればよいか
- E ジェネリック医薬品の適正使用を行政が勧める理由
- F その他 ※具体的な内容を ( ) 内に記入してください。

( )

問 7 あなたが、薬局の薬剤師にしてもらいたいことは、何ですか。  
(上位 2 つまで選んでください)

- A 薬の飲み合わせ、薬の重複等のチェック
- B 余った薬の整理や日数調整
- C 集会所等でのお薬相談会
- D 24 時間の相談対応
- E 副作用の早期発見
- F その他

( )

問 8 あなたが、薬局で利用したい機能は何ですか。  
(上位 2 つまで選んでください)

- A 健康相談 (漢方薬、健康食品、認知症など)
- B 医療機関、介護支援、訪問看護等の紹介
- C 一般用医薬品や介護用品、衛生用品等の販売
- D HbA1C (糖尿病の指標)、血圧、体脂肪等の健康チェック
- E その他

( )

問 9 あなたが、かかりつけ薬局 (薬剤師) を選ぶとき、重視することは何ですか。  
(上位 2 つまで選んでください)

- A 病院との距離が近い
- B 自宅との距離が近い
- C 笑顔で真心あふれる対応
- D 待ち時間が短い
- E 費用が安いこと

問 10 お薬手帳を使っていますか

- A 「電子版お薬手帳」を使っている
- B 「紙のお薬手帳」を使っている

問 11 「ジェネリック医薬品」と「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」に関する  
ことで自由に御意見を記入してください。

例) ジェネリック医薬品に関することは、薬剤師や医師から患者に対して  
積極的に説明をしてほしい。

( )

御協力ありがとうございました。

**ジェネリック医薬品と  
かかりつけ薬局、健康サポート薬局に関するアンケート調査**

この度、徳島県では、「ジェネリック医薬品」と「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」についてわかりやすく情報提供するため、調査研究をすることにしました。

つきましては、県民の皆様が知りたいことや疑問に思うことをお伺いし、今後の取組みや施策に活かしたいと考えております。

なお、本アンケート調査のとりまとめ結果は、調査研究結果として公表されます。

今回の調査の趣旨に御理解いただき、御協力をお願いします。

徳島県保健福祉部薬務課

問1 「ジェネリック医薬品」を知っていますか。

- A 知っている
- B 言葉は聞いたことがあるが、どういうものか詳しく知らない
- C 知らない

問2 「かかりつけ薬局」を知っていますか。

- A 知っている
- B 言葉は聞いたことがあるが、どういうものか詳しく知らない
- C 知らない

問3 「健康サポート薬局」を知っていますか。

※「健康サポート薬局」とは、厚生労働省が定める一定基準を満たしている薬局として、かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加えて、市販薬や健康食品に関することはもちろん、介護や食事・栄養摂取に関することまで気軽に相談できる薬局のこと。

- A 知っている
- B 言葉は聞いたことがあるが、どういうものか詳しく知らない
- C 知らない

問4 「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」について知る手段として、あなたが利用したいものはどれですか。

(上位2つまで選んでください)

- A 新聞・雑誌
- B テレビ・ラジオ
- C ポスターやちらし
- D 県のホームページ
- E その他 (自由記入欄に記入してください)

[ ]



問5 病院や薬局以外で「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」についてのポスターを掲示するとしたら、効果が高いと思うのはどこですか。

(上位2つまで選んでください)

- A 銀行等金融機関
- B スーパーマーケット等量販店
- C 健康・スポーツ施設
- D 駅、バス乗り場
- E 美容所、理容所
- F その他 (自由記入欄に記入してください)

[ ]

問6 新聞以外で、「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」についての広告を掲載するとしたら、効果が高いと思うのはどれですか。

(上位2つまで選んでください)

- A 市町村の広報誌
- B フリーペーパー
- C 県のホームページ等でのバナー広告
- D タクシー、バス、JRの車内やバスの車体
- E その他 (自由記入欄に記入してください)

[ ]

問7 次の「ジェネリック医薬品」に関することで、あなたが既にご存知の内容はどれですか。(複数回答可)

- A 徳島県は、ジェネリック医薬品の使用割合が全国最下位
- B ジェネリック医薬品は先発医薬品と比較して低価格
- C ジェネリック医薬品は国の厳しい審査をクリアしている
- D ジェネリック医薬品の使用は、医療保険制度を次の世代に引き継いでいくことにも貢献する

問8 「ジェネリック医薬品」について、あなたが特に知りたいことはどれですか。

(上位2つまで選んでください)

- A ジェネリック医薬品と先発医薬品との違い
- B ジェネリック医薬品の安全性
- C ジェネリック医薬品のメリット
- D ジェネリック医薬品を使ってみたい時どうすればよいか
- E ジェネリック医薬品の適正使用を行政が勧める理由
- F その他 (自由記入欄に記入してください)

[ ]

問 9 あなたが、薬局の薬剤師にしてもらいたいことは、何ですか。

(上位2つまで選んでください)

- A 薬の飲み合わせ、薬の重複等のチェック
- B 余った薬の整理や日数調整
- C 集会所等でのお薬相談会
- D 24時間の相談対応
- E 副作用の早期発見
- F その他 (自由記入欄に記入してください)

[ ]

問 10 あなたが、薬局で利用したい機能は何ですか。

(上位2つまで選んでください)

- A 健康相談(漢方薬、健康食品、認知症など)
- B 医療機関、介護支援、訪問看護等の紹介
- C 一般用医薬品や介護用品、衛生用品等の販売
- D HbA1C(糖尿病の指標)、血圧、体脂肪等の健康チェック
- E その他 (自由記入欄に記入してください)

[ ]

問 11 「ジェネリック医薬品」と「かかりつけ薬局及び健康サポート薬局」に関する  
ことで自由に御意見を記入してください。

例) ジェネリック医薬品に関することは、薬剤師や医師から患者に対して  
積極的に説明をしてほしい。

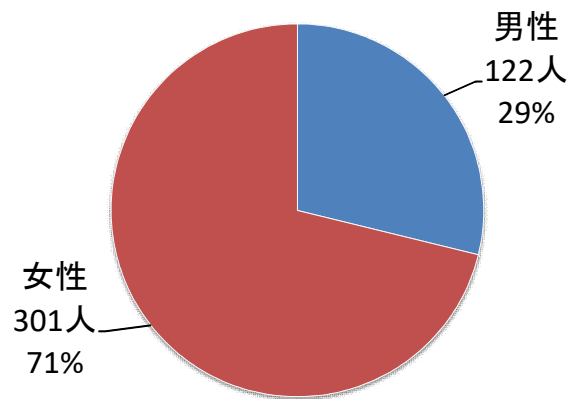
[ ]

御協力ありがとうございました。

## 2 調査結果

### (1) その1 平成29年度徳島県シルバー大学校学生他 計428名

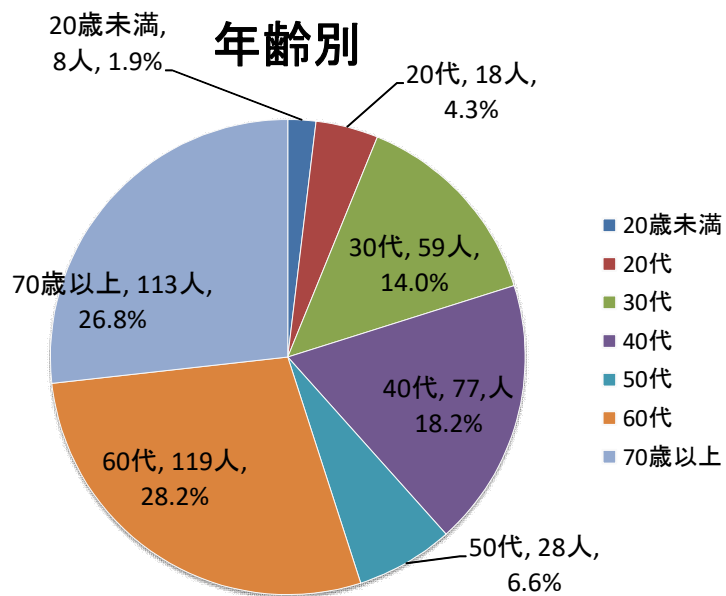
#### 男女別



未記入・無回答 5人

(図1)

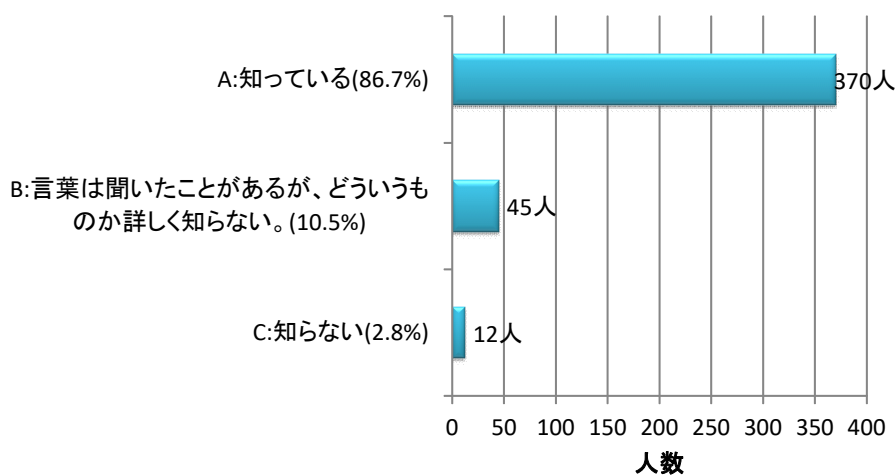
#### 年齢別



(図2)



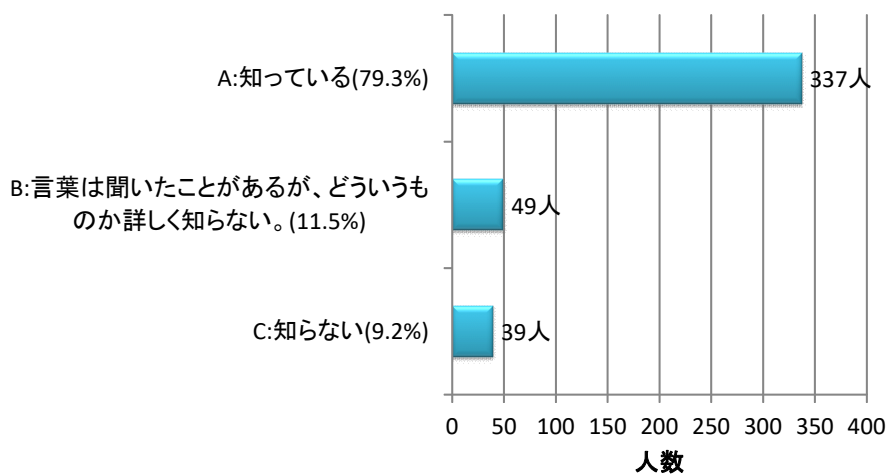
## 問1 「ジェネリック医薬品」を知っていますか。



(図3)

「ジェネリック医薬品」という言葉は、85%以上の人が知っている。

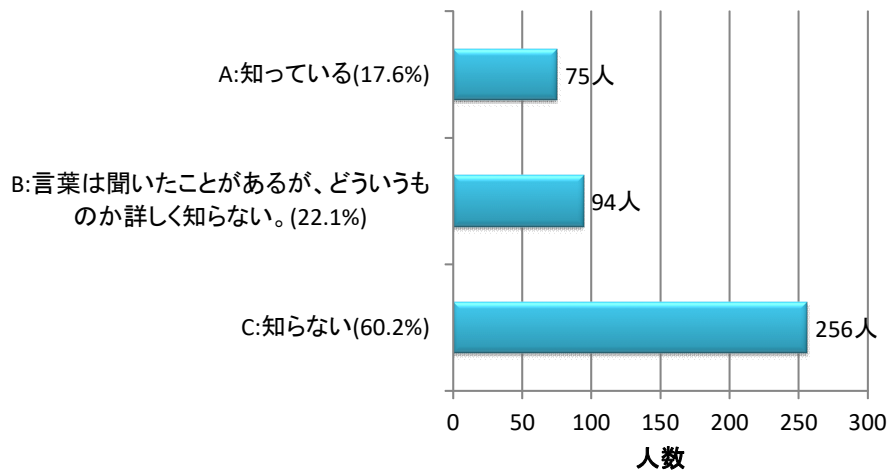
## 問2 「かかりつけ薬局」を知っていますか。



(図4)

「かかりつけ薬局」という言葉は、80%近くの人知っている。

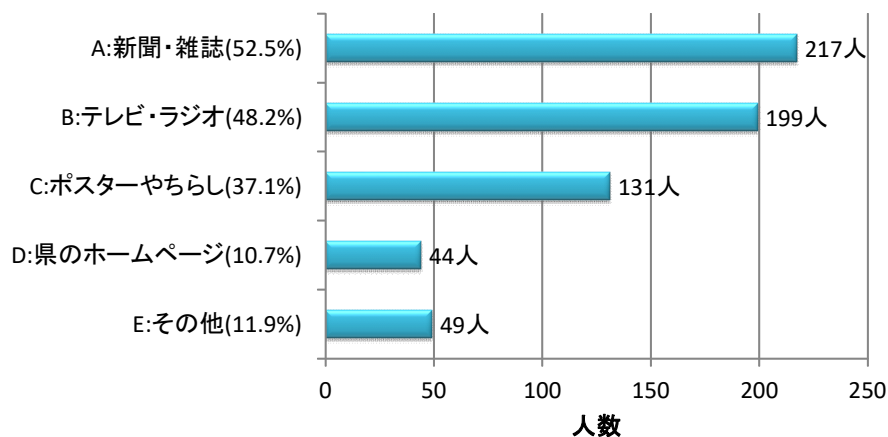
### 問3 「健康サポート薬局」を知っていますか。



(図5)

「健康サポート薬局」という言葉を約60%の人は知らない。

### 問4 「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」を知るため 利用したいもの(上位2つまで)



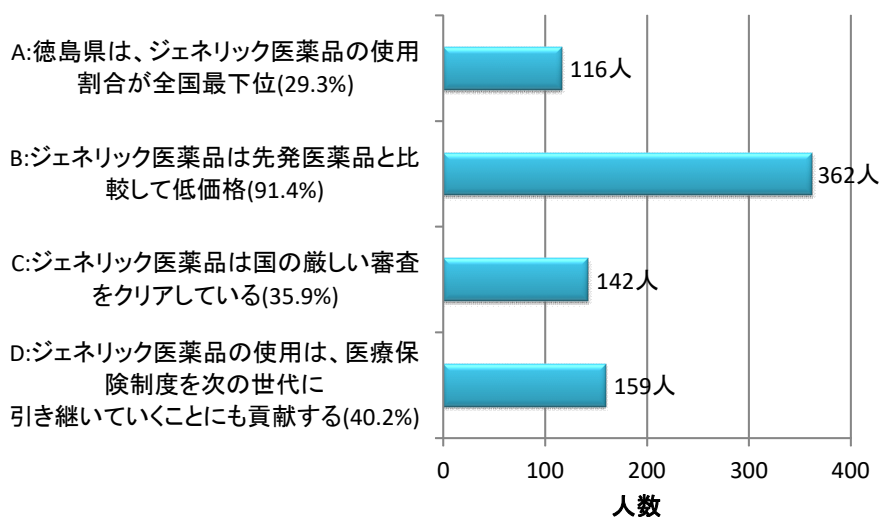
(図6)

情報を得る手段としては、新聞・雑誌、テレビ・ラジオのようなマスコミを利用したいと考えている人が多い。

#### 問4 その他の意見

- ・インターネット
- ・アプリ
- ・薬を扱っている（売っている）ホームページ内
- ・保険組合からPR
- ・病院
- ・医師（かかりつけ医）、薬剤師
- ・調剤薬局（かかりつけ薬局）
- ・シルバー大学校
- ・市の広報（大きな字で）
- ・市役所からジェネリックなどの通知
- ・ジェネリック医薬品の案内
- ・ダイレクトメール
- ・講演会
- ・社内社員勉強会にて
- ・専門学校の授業で学んだ
- ・大学の講義で習った
- ・できれば詳細に書いたチラシみたいな宣伝文を配布されると良いと思う

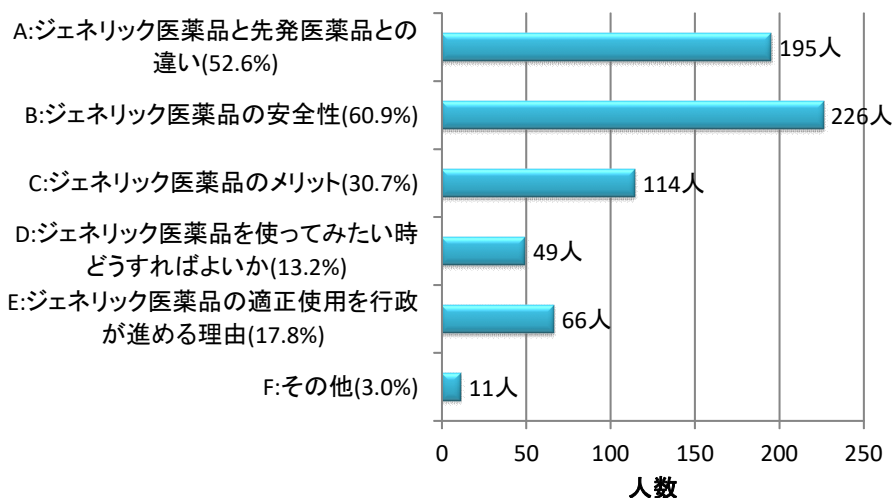
#### 問5 「ジェネリック医薬品」に関する ことで既に知っている内容



(図7)

「ジェネリック医薬品が低価格」であることは、90%以上の人が知っている。

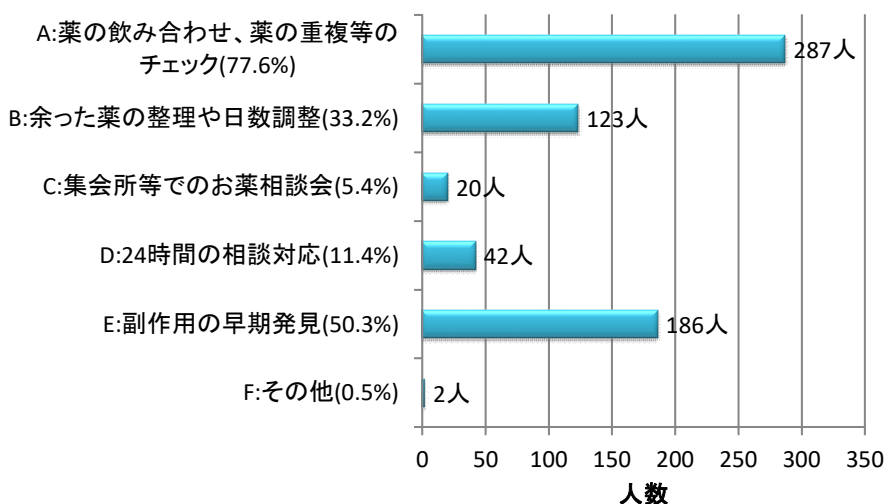
## 問6 「ジェネリック医薬品」に関する ことで、特に知りたいこと (上位2つまで)



(図8)

「ジェネリック医薬品」について特に知りたいことは、安全性や先発医薬品との違いである。

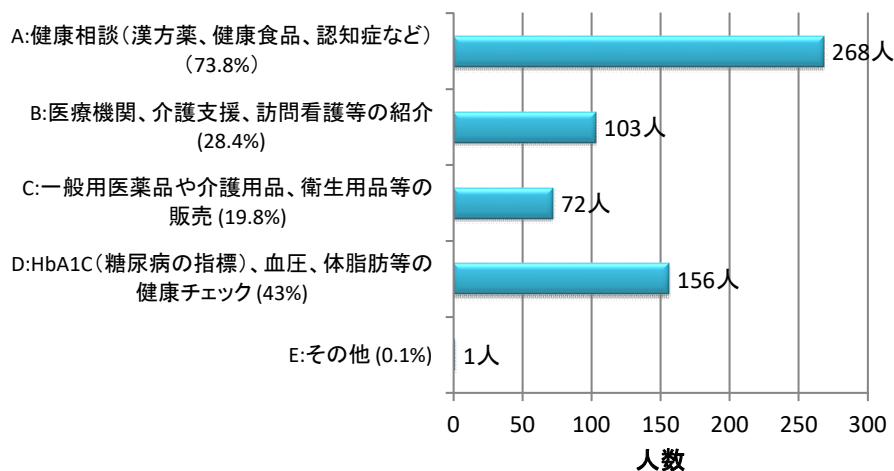
## 問7 あなたが、薬局の薬剤師にして もらいたいことは、何ですか。 (上位2つまで)



(図9)

薬局の薬剤師にしてもらいたいことは、「薬の飲み合わせ、重複等のチェック」が最も多い。

## 問8 あなたが、薬局で利用したい機能は何ですか。 (上位2つまで)

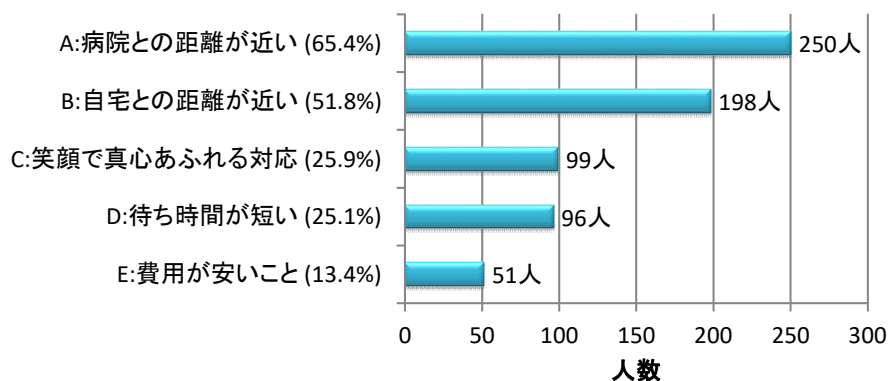


(図10)

薬局で利用したい機能としては、「健康食品、漢方薬、認知症などの健康相談」が最も多い。

## 問9 あなたが、かかりつけ薬局(薬剤師)を選ぶとき、重視することは何ですか。

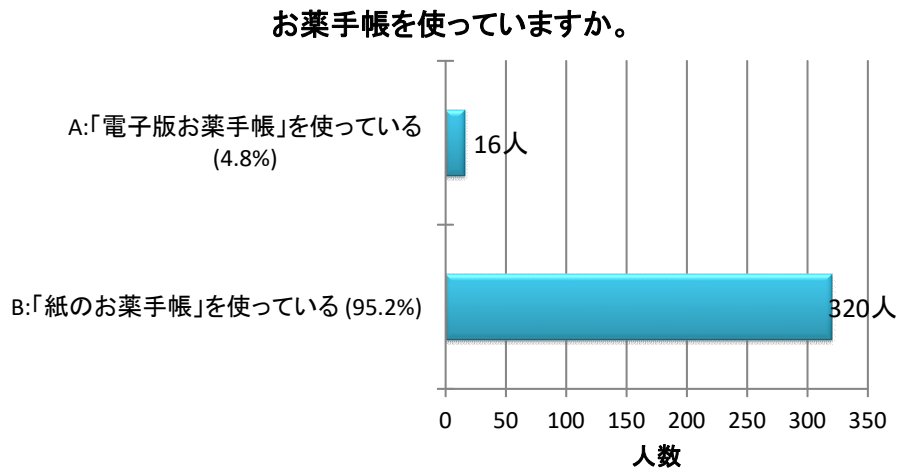
あなたが、かかりつけ薬局(薬剤師)を選ぶとき、重視することは何ですか。



(図11)

薬局を選ぶときに「病院や自宅からの距離」を重視する人が多い。

## 問10 お薬手帳を使っていますか。



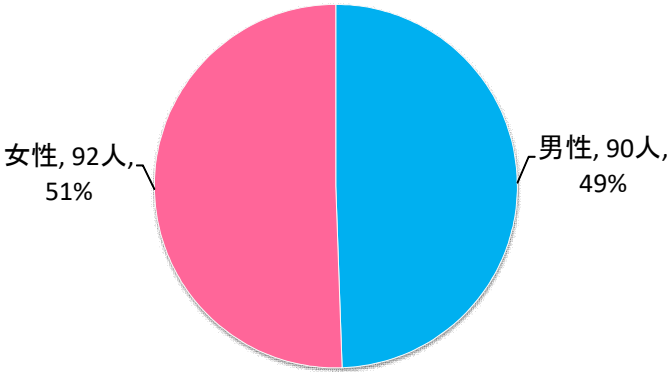
(図 1 2)

紙のお薬手帳を使用している人が多い。

### 問 1 1 その他自由意見 (主なもの)

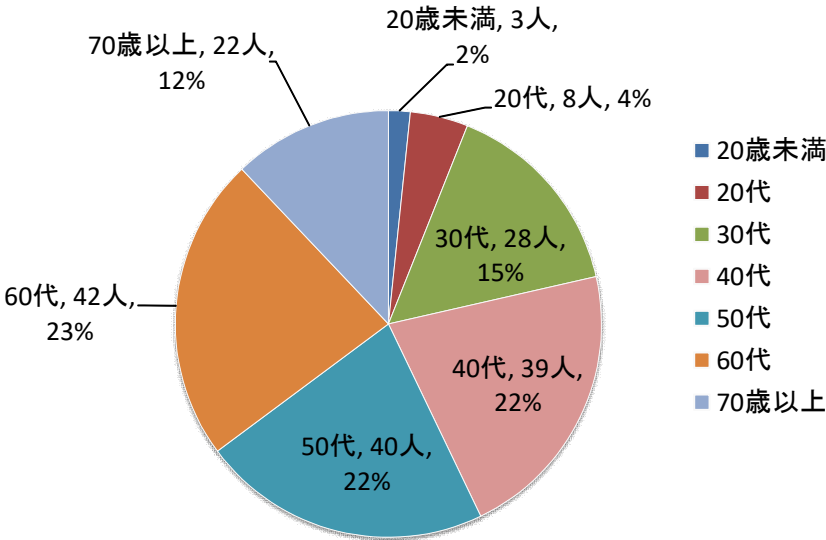
- ジェネリック医薬品に関することは、薬剤師や医師から患者に対して積極的に説明してほしい。
- ジェネリック医薬品がない薬もある。何割くらいあるのか。
- 医師からもっと説明してほしい。薬局での薬剤師からの説明に差がある。
- 徳島県が積極的な指導や広報をしてほしい。
- 講義を受けてよくわかった。

### 男女別



(図13)

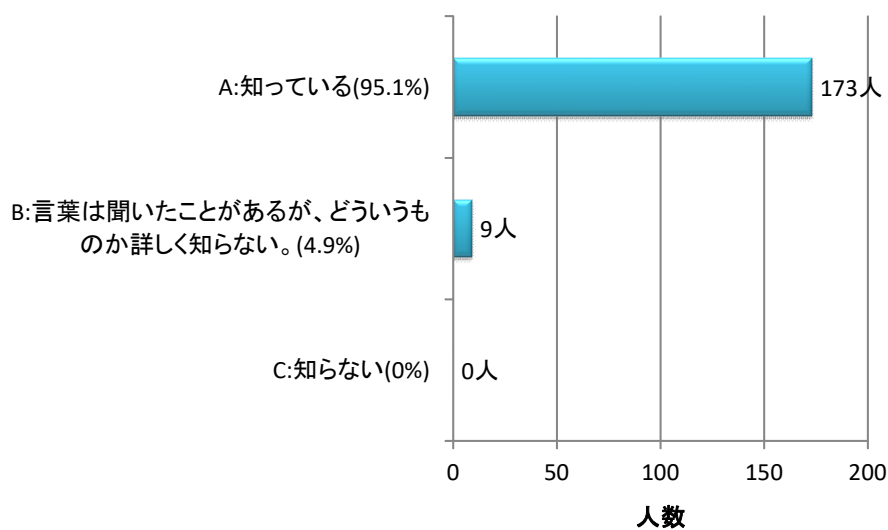
### 年齢別



(図14)



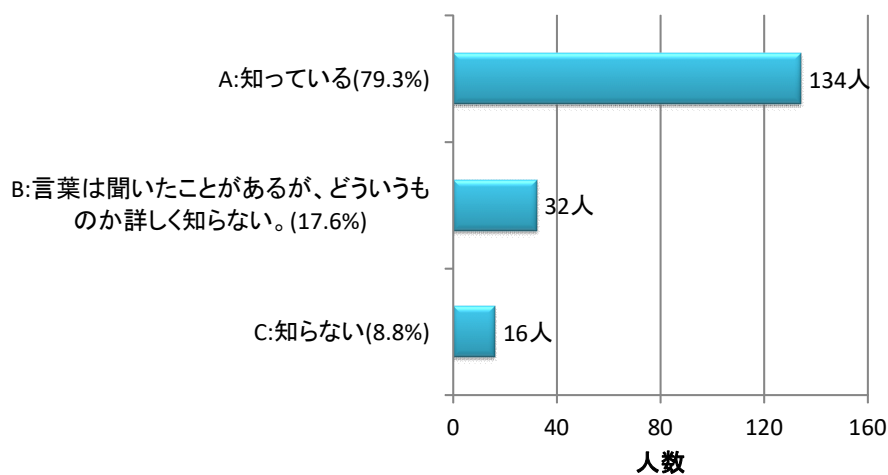
## 問1 「ジェネリック医薬品」を知っていますか。



(図15)

「ジェネリック医薬品」という言葉は、ほとんどの人が知っている。

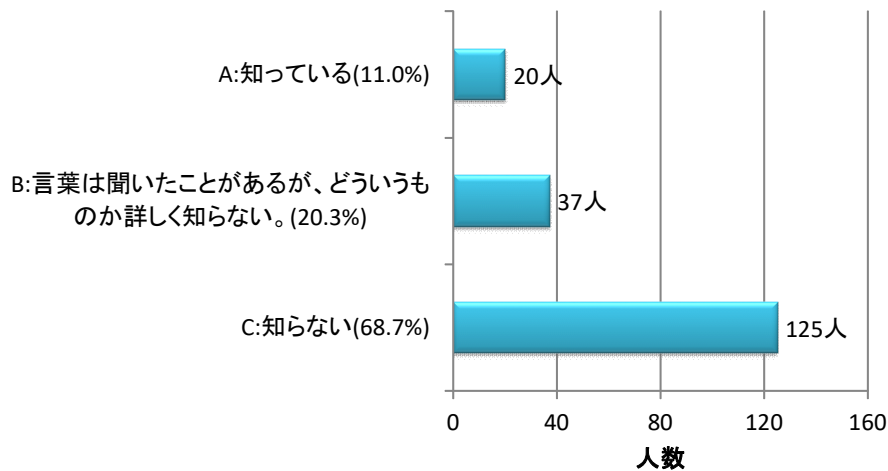
## 問2 「かかりつけ薬局」を知っていますか。



(図16)

「かかりつけ薬局」という言葉は、90%以上の人が知っているが、そのうちどういうものか詳しく知らない人が約18%いる。

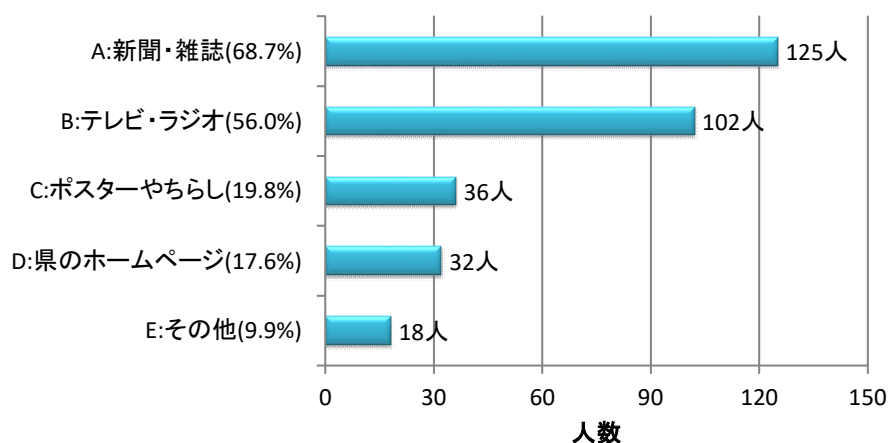
### 問3 「健康サポート薬局」を知っていますか。



(図17)

「健康サポート薬局」という言葉を70%近くの人が知らない。

### 問4 「ジェネリック医薬品」 「かかりつけ薬局」 「健康サポート薬局」を知るため 利用したいもの(上位2つまで)



(図18)

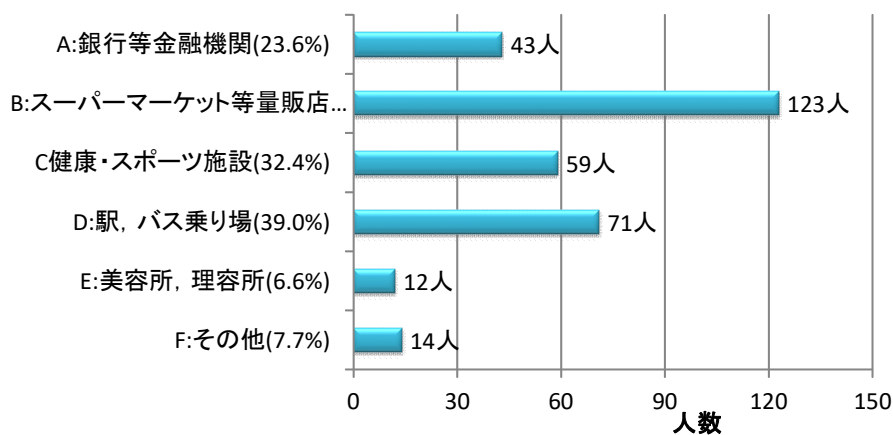
「ジェネリック医薬品」等について知る手段として、新聞・雑誌、テレビ・ラジオのようなマスコミを利用したいと考えている人が多い。

#### 問4 その他の意見（主なもの）

- ・インターネット
- ・スマホ
- ・口コミ
- ・医療機関
- ・薬局
- ・健康保険組合からの情報提供（広報誌）
- ・県や市の広報
- ・SNS
- ・厚生労働省のホームページ
- ・大学
- ・学校での健康教育の一環として
- ・医師や専門家からのアドバイスや情報として伝達してもらいたい。
- ・いままで説明受けたことない。

### 問5 「ジェネリック医薬品」等の ポスター掲示場所

病院や薬局以外で「ジェネリック医薬品」等のポスター  
掲示場所として効果が高いと思われるのは（上位2つまで）



（図19）

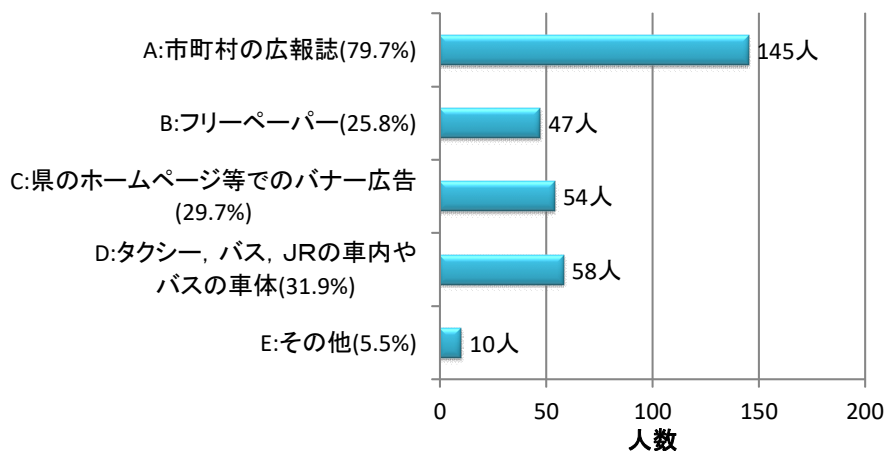
ポスターについては、スーパーマーケット等の量販店での掲示が効果が  
高いと考えている人が多い。

### 問5 その他の意見（主なもの）

- ・ 銭湯, 温泉
- ・ 図書館
- ・ 病院
- ・ 役場
- ・ 学校
- ・ ドラッグストア
- ・ 新聞広告
- ・ コンビニ
- ・ トイレの内ドア
- ・ 市町村役場の保険課の窓口

## 問6 「ジェネリック医薬品」等の広告掲載場所

新聞以外で「ジェネリック医薬品」等の広告掲載場所として効果が高いと思われるのは(上位2つまで)



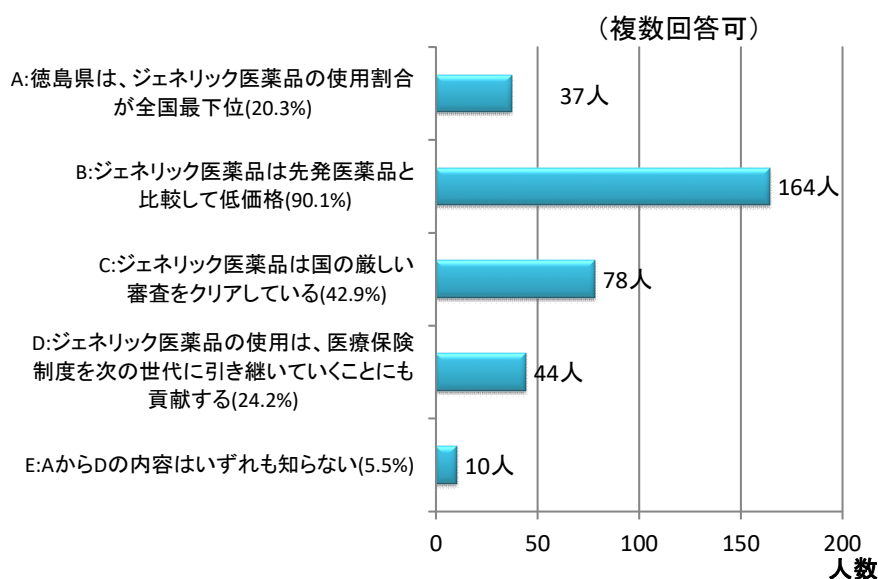
(図20)

広告の掲載場所としては、市町村広報誌に掲載すると効果が高いと考えている人が最も多い。

## 問6 その他の意見（主なもの）

- ・ 病院
- ・ 道路パトロールカーや、徳島県所有の公共車輛
- ・ 保険証を差し込むカード入
- ・ タウン誌
- ・ お薬手帳
- ・ 薬局でくれる薬の袋の裏
- ・ テレビ
- ・ ラジオ
- ・ コインランドリーなど、時間待ちする所はチラシなどを見る時間がある。
- ・ 無料配布のチラシをスーパーやコンビニ等にフリーペーパーのように置いて欲しい。

## 問7 「ジェネリック医薬品」に関する ことで既に知っている内容

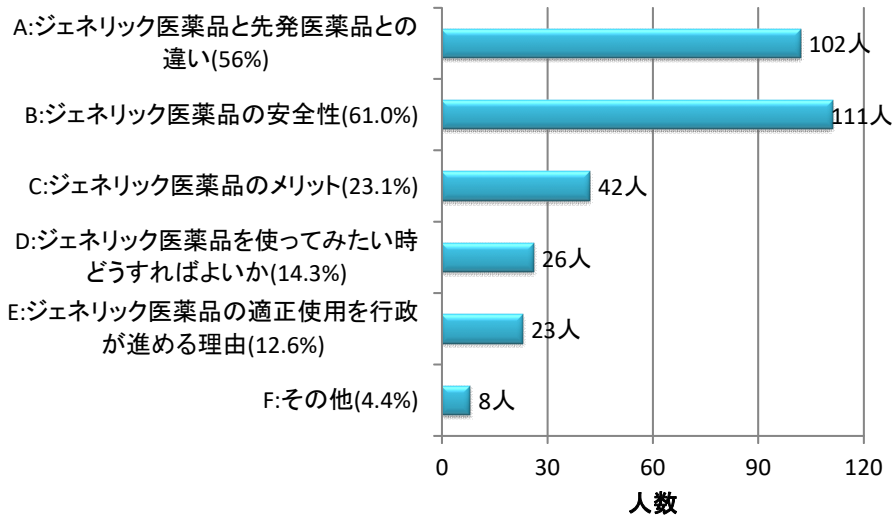


(図21)

ジェネリック医薬品の特徴として値段が安いことを知っている人が約90%で最も多い。

## 問8 「ジェネリック医薬品」に関する ことで、特に知りたいこと

(上位2つまで)

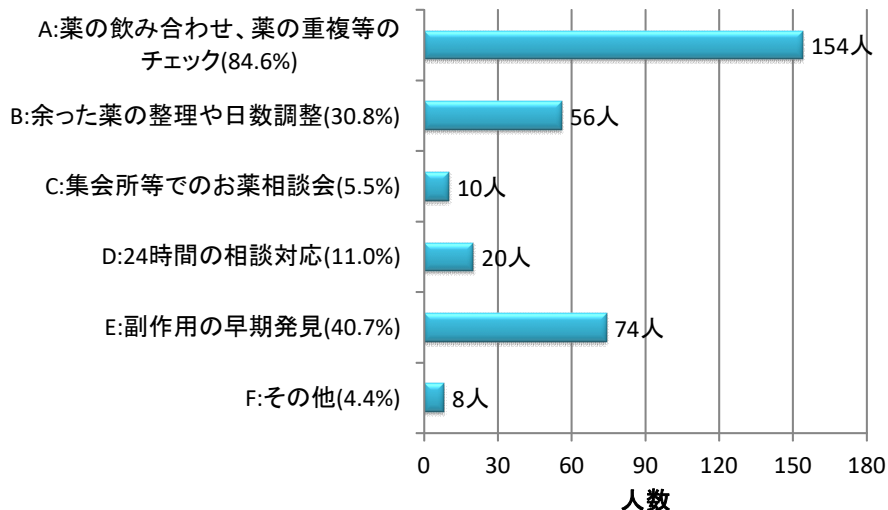


(図 2 2)

ジェネリック医薬品について、特に知りたいことは「安全性」や「先発医薬品との違い」である。

## 問9 あなたが、薬局の薬剤師にして もらいたいことは何ですか。

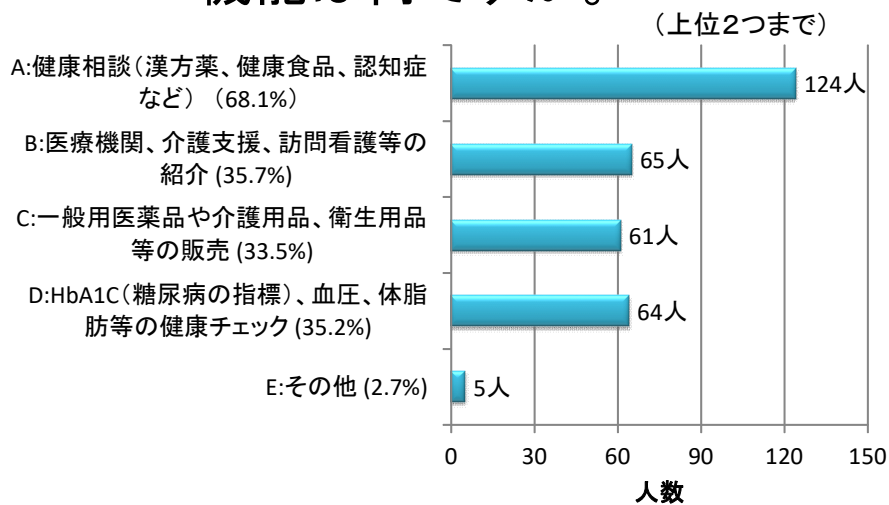
(上位2つまで)



(図 2 3)

薬局の薬剤師にしてもらいたいことは「薬の飲み合わせ、重複のチェック」が最も多い。

## 問10 あなたが、薬局で利用したい機能は何ですか。



(図24)

薬局で利用したい機能としては、「健康食品、認知症等の健康相談」が最も多い。



## 問 1 1 その他自由意見（主なもの）

- ジェネリック医薬品の使用に関して、薬剤師や医師から患者に対して積極的に説明をしてほしい。
- 高齢化で医療費は増大の一途になる。しかし、通院する患者の意識は低く、飲まない薬や変化のない治療（整形外科など）に、健康保険からどのくらい支出されているのかを周知して、患者教育は勿論のこと、医者のもうけ主義に警鐘を鳴らし、保険料の支出をいかに削減するかを検討してもらいたい。
- 新聞を活用した、わかりやすい特集記事の掲載。例えば、①薬の基本知識（効能、副作用、医療控除）、②薬（ジェネリック）の留意点、③お薬手帳などなど、いくつかの視点でとらえる。また、現場に携わる薬剤師の意見・アドバイスの発信があると吸収しやすい。
- 高齢者が増えている状況のなかで、薬の「飲み残し」が結構あると思われる。かかりつけ薬局等が高齢者家庭等の服薬管理をした場合や、ジェネリック医薬品の利用割合が一定の率を超えた場合に、「評価」する仕組みの導入が必要。
- 今のところ、定期的に薬を飲むようなことがないので、考える機会がないが、処方される前にジェネリック医薬品のメリット・デメリットを詳しく教えてもらえれば、自身の判断でいずれかを選ぶことができると思う。
- 薬剤師や医者から何も説明がないのに、自分からジェネリック医薬品を使用するようお願いすることは難しい。
- 実際に支払う自己負担が少ないため、ジェネリック医薬品を使用せず、飲まない薬を大量に捨てている現状が、医療費を膨大させている。
- ジェネリック医薬品は、調剤薬局を利用するたびに話を聞くが、まだ使ったことはない。低価格で内容は変わらないという認識はあるものの、今までどおりの安心感が先にたってしまう。
- 現在毎月の投薬に既にジェネリック医薬品を飲んでいるが、サプリメントの効能などと医薬品との係わり方を「かかりつけ薬局」で相談したい。
- 医師会や薬剤師会も、地域での積極的な啓発活動を行うようにすべき。

○ジェネリック医薬品との差額通知の案内があるが、効能の差は記されていないため、効能や安全性等について詳しい説明が欲しい。

○私の地元（県外）では、薬局へ行くと、絶対に「ジェネリックでよろしいですか」と聞かれ、わからなければ毎回説明してくれた。徳島の薬局でも、積極的に勧めればほとんどの患者さんは、ジェネリック医薬品を使うと思う。私は勧められて断る理由は考えられなかった。

○今までの経験で医師からは聞いたことはないが、薬局（今では、かかりつけ薬局となっている）の薬剤師から「ジェネリック医薬品を利用しますか？」と聞かれた。喜んで受け入れた。良心的な薬局だと思った。患者は医師には言いにくい。良心的な薬剤師から言ってもらえれば、患者は嬉しい。まず、薬局に対して指導・要請する方が近道だと思う。

○オーソライズドジェネリック医薬品（AG）について積極的に情報提供してほしい。普通のジェネリック医薬品とどう違うのか、メリットや、どのくすりにAGがあるのかなどわかりやすい説明があると、ジェネリック医薬品を使ってみようと思うきっかけになるのではないか。

※オーソライズドジェネリック（AG）医薬品とは  
「有効成分」だけでなく、先発医薬品と同じ「原薬，添加物，製法」で作られた医薬品

## IV 調査方法及び結果

### アンケート調査の結果を基に作成したフリップ等に対する県民アンケート

#### 1 県民へのアンケート調査結果を基にフリップの作成

県民へのアンケート調査結果から、「ジェネリック医薬品」、「かかりつけ薬局」という言葉の認知度は、かなり高いことがわかった。

「ジェネリック医薬品」に関しては「低価格」であることは、よく知られているが、「徳島県が使用割合が全国最下位」、「ジェネリック医薬品の使用は、医療保険制度を次の世代に引き継いでいく」というような、具体的な内容については、県民に知られていないことがわかった。

一方、「健康サポート薬局」については、言葉そのものの認知度が低いことがわかった。

ジェネリック医薬品について知りたいことは、「安全性」「先発医薬品との違い」と回答した人が多かった。

また、薬局薬剤師にしてもらいたいことについては、「薬の飲み合わせ、薬の重複等のチェック」、「副作用の早期発見」が、薬局で利用したい機能としては、「健康相談（漢方薬、健康食品、認知症など）」と回答した人が多かった。

これらの結果を基に、情報提供の際のキーワードを次のとおりとして、A3サイズ両面1枚の2種類のフリップを作成した。（図25、26）

##### A ジェネリック医薬品関係のフリップ（図25）のキーワード

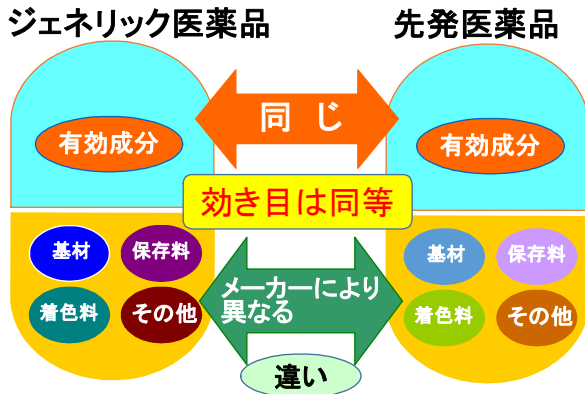
- ・ 徳島県は使用割合が全国最下位
- ・ ジェネリック医薬品の使用は、医療保険制度を次の世代に引き継いでいく
- ・ ジェネリック医薬品の安全性
- ・ 先発医薬品との違い

##### B かかりつけ薬局、健康サポート薬局関係のフリップ（図26）のキーワード

- ・ 健康サポート薬局とは
- ・ かかりつけ薬局の機能  
副作用の予防・早期発見、飲み合わせのチェック
- ・ 健康サポート薬局の機能  
市販薬や健康食品に関することの相談受付  
禁煙・認知症に関することの相談受付

(表)

# ジェネリック医薬品について もっと知ってください



Q ジェネリック医薬品は安全？

A

- ・国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。
- ・製造する工場へ都道府県等が定期的に立入調査を行い、品質が確保できているか等確認しています。
- ・流通しているジェネリック医薬品に対し、国や都道府県が検査を実施しています。

ジェネリック医薬品の使用割合が  
徳島県は「全国最下位」！！

見直してみませんか。あなたのお薬

先発医薬品、ジェネリック医薬品のいずれにも副作用が発生することはあります。

(裏)



## 国はジェネリック医薬品の使用を すすめています。御協力をお願いします。

ジェネリック医薬品を使うとこんないいことが！！

- ・日本全体の医療費を有効活用することができます。
  - ・みなさんの行動が、国民皆保険の制度を守り、未来へつなげていくことにつながります。
  - ・ジェネリック医薬品には、大きさや味などを飲みやすく工夫されているものがあります。
  - ・先発医薬品と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので薬の値段が安くなっています。
- 

ジェネリック医薬品を使ってみようと思ったら、  
主治医や薬剤師に相談しましょう。



(図 2 5) A ジェネリック医薬品関係フリップ

(表)

♥薬局をもっと身近に♥  
かかりつけ薬局・健康サポート薬局

**健康サポート薬局とは**


かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加えて、

- 市販薬や健康食品に関すること
- 地域の医療・介護(施設)に関すること
- 禁煙・認知症に関すること


などを相談できる薬局です。

増えてます!

病気の予防や健康サポートもできる薬局!



健康サポート薬局



(裏)

♥薬局をもっと身近に♥  
かかりつけ薬局・健康サポート薬局

かかりつけ薬局って、便利！知らんとそんそん！

- 副作用の予防・早期発見, 飲み合わせのチェック




患者さんの服用している薬を全て確認し、飲み合わせや重複などのチェックを行います。

- 医療費の有効活用

余ったお薬があれば整理して、飲み残しが解消されるよう、投薬日数を調整します。

- いつでも、安心

薬剤師が、24時間対応で電話相談を受け付けます。



(図26) B かかりつけ薬局, 健康サポート薬局関係フリップ

## 2 アンケート調査実施方法

### (1) 実施日、場所及び対象

#### 【第1回】

実施日 平成29年11月18日(土)

場 所 イオンモール徳島

対 象 買い物客等 計94名

#### 【第2回】

実施日 平成29年11月23日(木)

場 所 徳島グランヴィリオホテル

対 象 くすりに関するセミナー参加者 計43名

### (2) アンケートの方法

- ① 2種類のA3サイズのフリップ, または, B2サイズのパネルを見てもらう。  
A ジェネリック医薬品  
B かかりつけ薬局及び健康サポート薬局
- ② 「印象に残った」, 「わかりやすい」, 「今回知った」と感じたA及びBのそれぞれ1カ所に, 緑のシールを貼り付け
- ③ 「わかりにくい」と感じたA及びBのそれぞれ1カ所に, 赤のシールを貼り付け



### 3 作成したフリップ等に対する県民アンケート結果



#### アンケートの方法

印象に残った・わかりやすい  
今回知った 緑のシール●  
わかりにくい

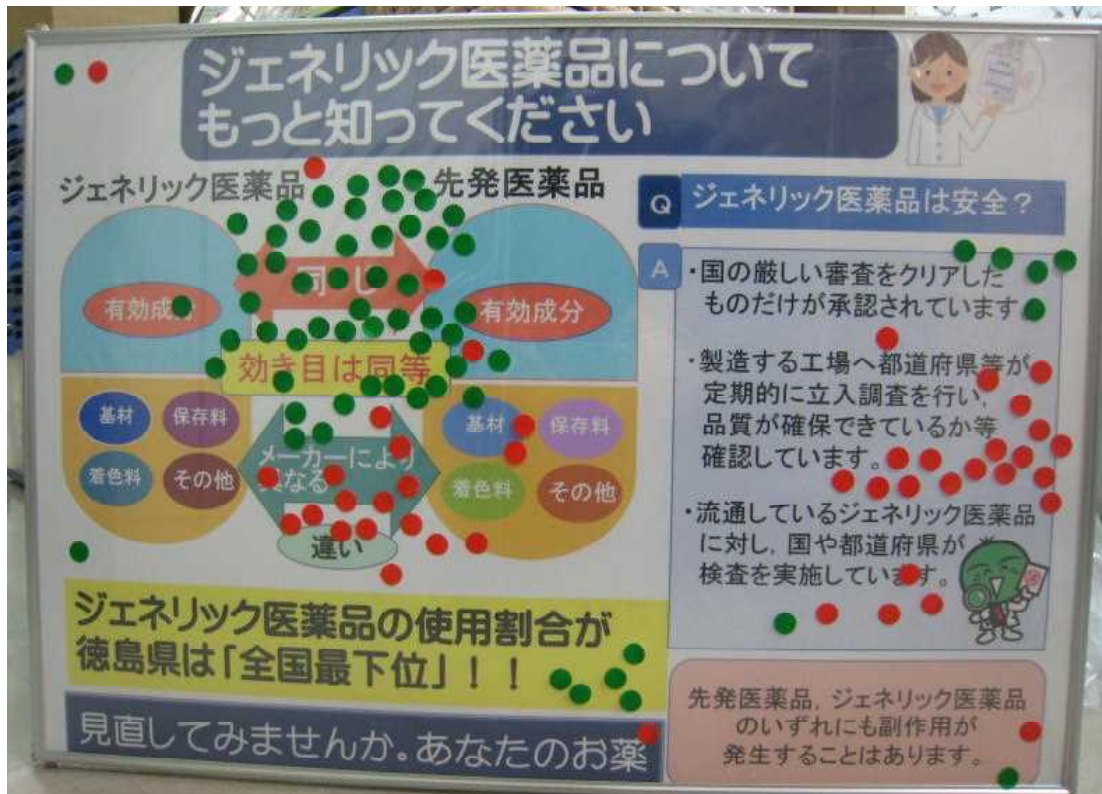
赤のシール●

それぞれ一カ所教えてください

イオンモール徳島での  
アンケート調査の様子

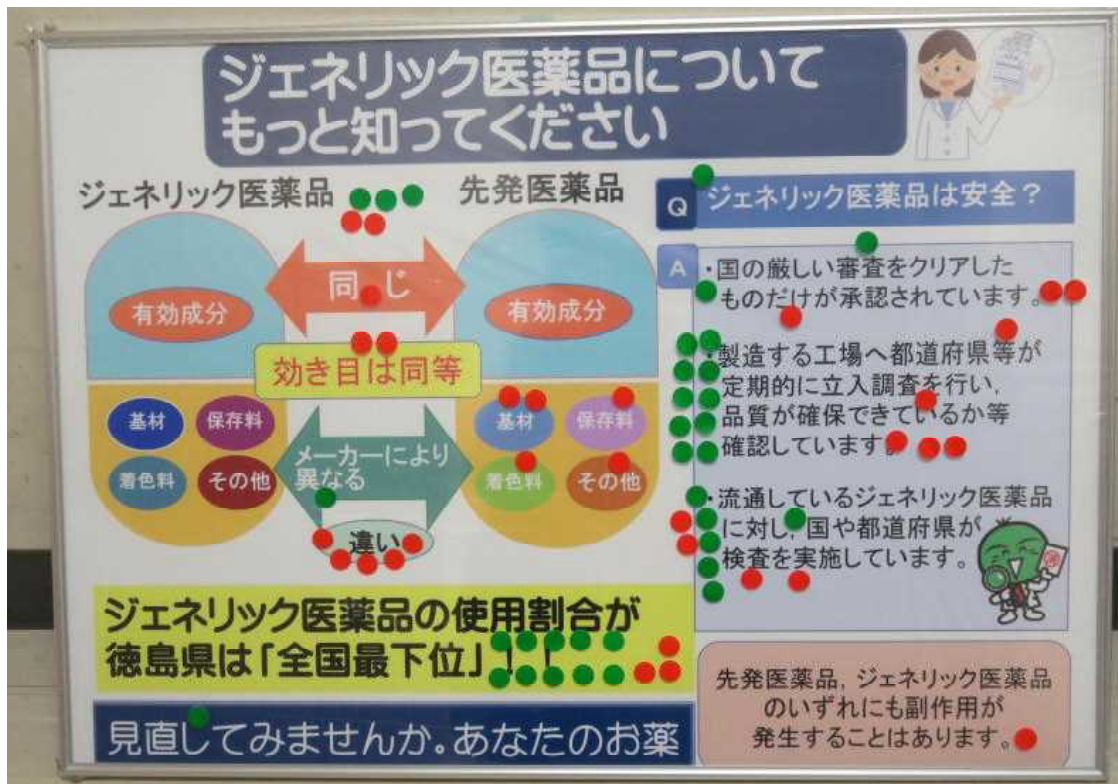






(図 2 7) A-1 ジェネリック医薬品 (イオンモール徳島)

図で示した内容は、わかりやすいと感じる人が多い。

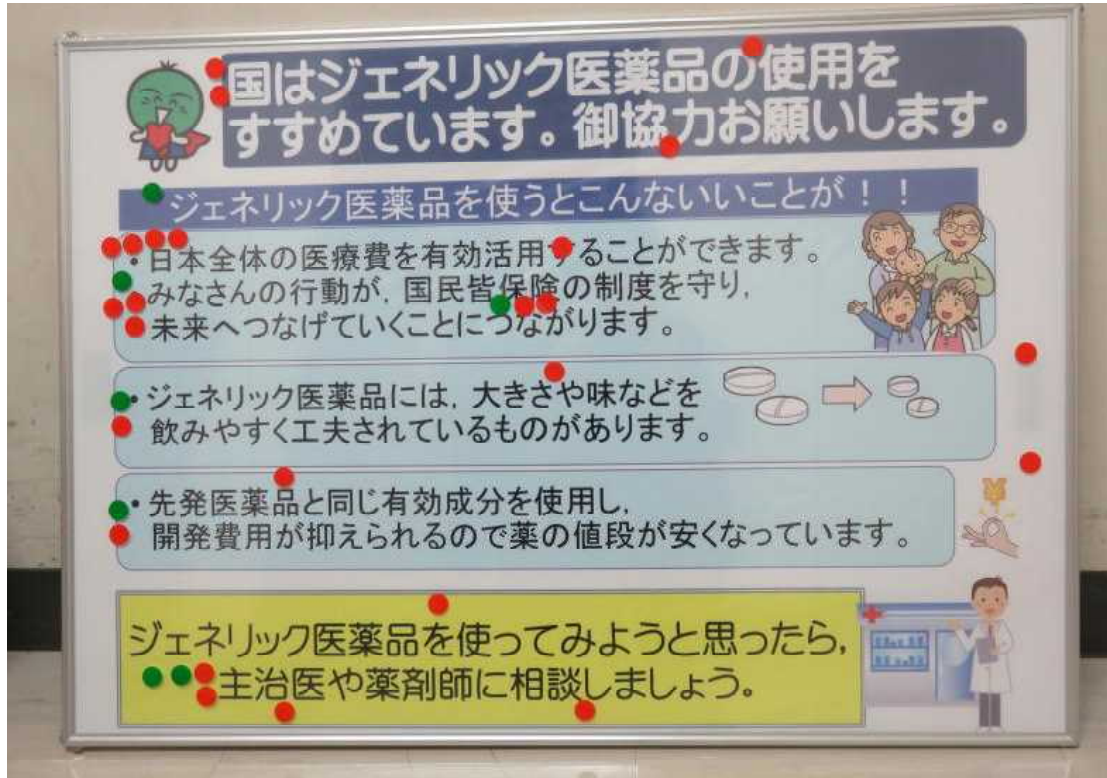


(図 2 8) A-1 ジェネリック医薬品 (くすりに関するセミナー)

セミナーに参加している人は、品質確保の内容に興味が高い。



(図 29) A-2 ジェネリック医薬品 (イオンモール徳島)



(図 30) A-2 ジェネリック医薬品 (くすりに関するセミナー)

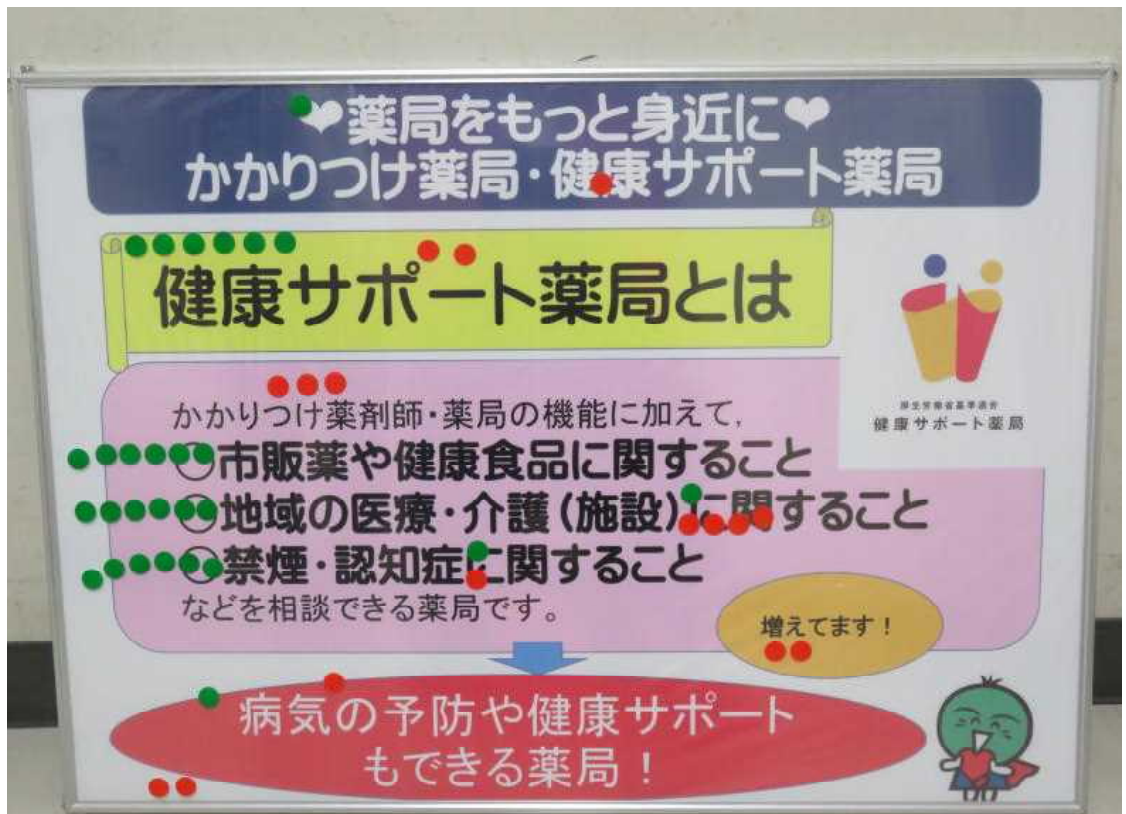
医療費の有効活用に関する内容は、口頭での補足説明等がないとわかりにくい。



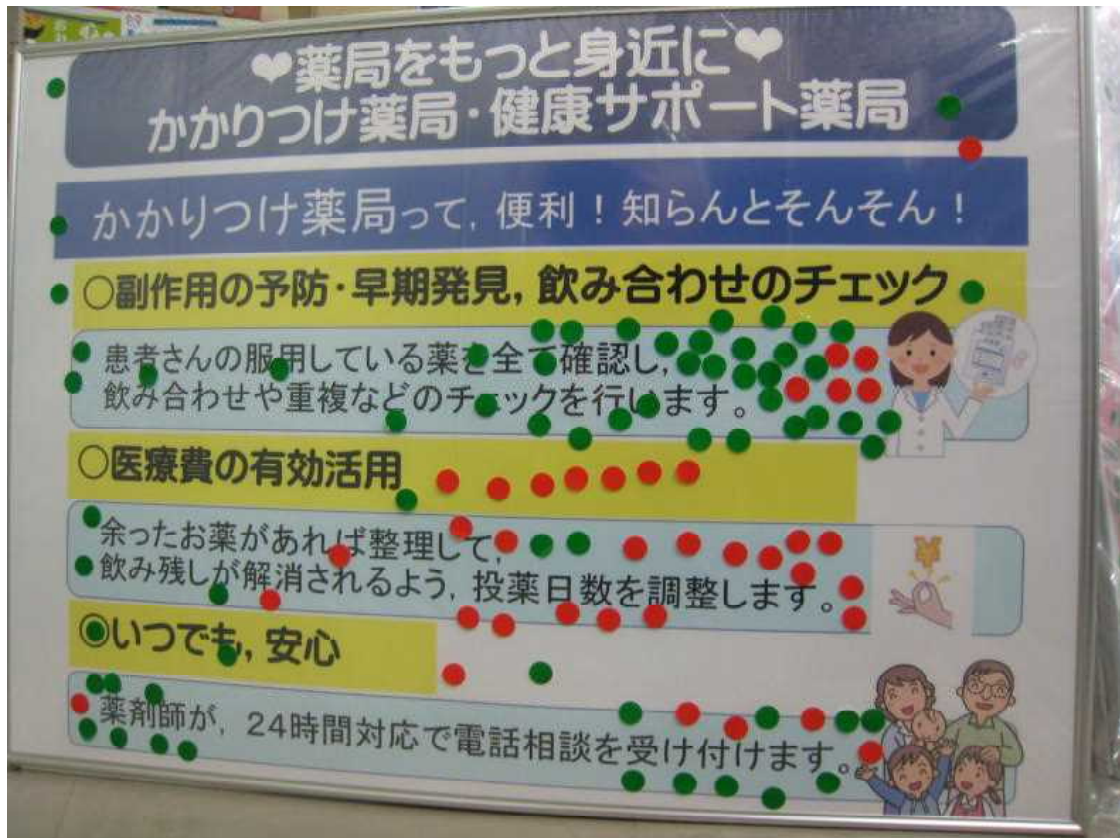


(図 3 1) B-1 かかりつけ薬局及び健康サポート薬局 (イオンモール徳島)

健康サポート薬局の機能は、初めて知った人が多い。

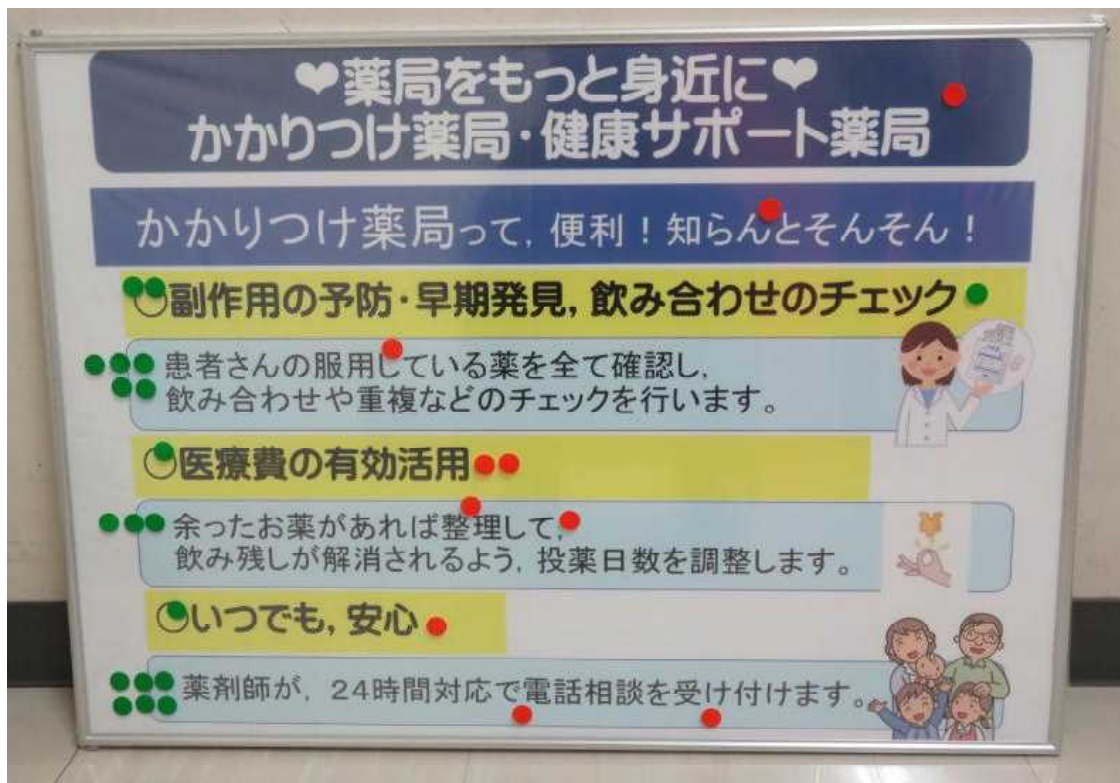


(図 3 2) B-1 かかりつけ薬局及び健康サポート薬局 (くすりに関するセミナー)



(図 3 3) B-2 かかりつけ薬局及び健康サポート薬局 (イオンモール徳島)

飲み忘れ等による余ったお薬の調整に関する内容は、口頭での補足説明が必要であった。



(図 3 4) B-2 かかりつけ薬局及び健康サポート薬局 (くすりに関するセミナー)



## V 調査方法及び結果

### 作成したフリップに対する専門家（情報提供側）からの意見聴取

---

#### 1 調査方法

(1) 実施時期 平成30年1月下旬

(2) 対象 薬剤師 5名

(平成29年度ジェネリック医薬品に関する情報提供事業実施薬局の管理薬剤師)

特定非営利活動法人徳島県消費者協会 1名

(徳島県後発医薬品適正使用協議会委員)

徳島県保険者協議会事務局 2名 計 8名

(3) 意見聴取の方法

① 2種類のA3サイズのフリップを見てもらう。

A ジェネリック医薬品

B かかりつけ薬局及び健康サポート薬局

② 県民のみなさんへ「伝えたい」「知ってほしい」と感じるA及びBのそれぞれ（2カ所程度）に、青のシールを貼り付け

③ 「わかりにくい」「もっと詳しい説明が必要」と感じるA及びBのそれぞれ（2カ所程度）に、ピンクのシールを貼り付け

#### 2 各専門家からのコメント

- ・ジェネリック医薬品の使用が、持続可能な国民の皆保険制度に貢献することは、大切であるが、文章で説明すると長くなりわかりにくい。「このままでは、みんなの保険料が増える」等の直接的な表現がわかりやすいが、行政が作成する場合、過激な直接的な表現は難しいのか。
- ・ジェネリック医薬品は、オーソライズドジェネリックなら全く一緒になるので、フリップ（案）のイメージどおりではないことから、オーソライズドジェネリックの説明も今後は必要。
- ・徳島県がジェネリック医薬品の使用割合が全国最下位であることは、インパクトがあり、県民にもっと知ってほしい内容である。
- ・伝えたい内容は、もっと詳しく説明ができればよいが、スペース的に難しそう。（かかりつけ薬局の機能としての残薬の整理や投薬日数の調整等）
- ・健康サポート薬局は、周知が進んでも県内での施設数が少ないようであれば、利用できる機会が少ないのでは。

### 3 結果

## ジェネリック医薬品について もっと知ってください

**ジェネリック医薬品**      **先発医薬品**

同じ

効き目は同等

メーカーにより異なる

違い

**Q ジェネリック医薬品は安全？**

**A** 国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。

製造する工場へ都道府県等が定期的に立入調査を行い、品質が確保できているか等確認しています。

・流通しているジェネリック医薬品に対し、国や都道府県が検査を実施しています。

先発医薬品、ジェネリック医薬品のいずれにも副作用が発生することはあります。

**ジェネリック医薬品の使用割合が徳島県は「全国最下位」！！**

**見直してみませんか。あなたのお薬**

(図35) A-1 ジェネリック医薬品

## 国はジェネリック医薬品の使用を すすめています。御協力お願いします。

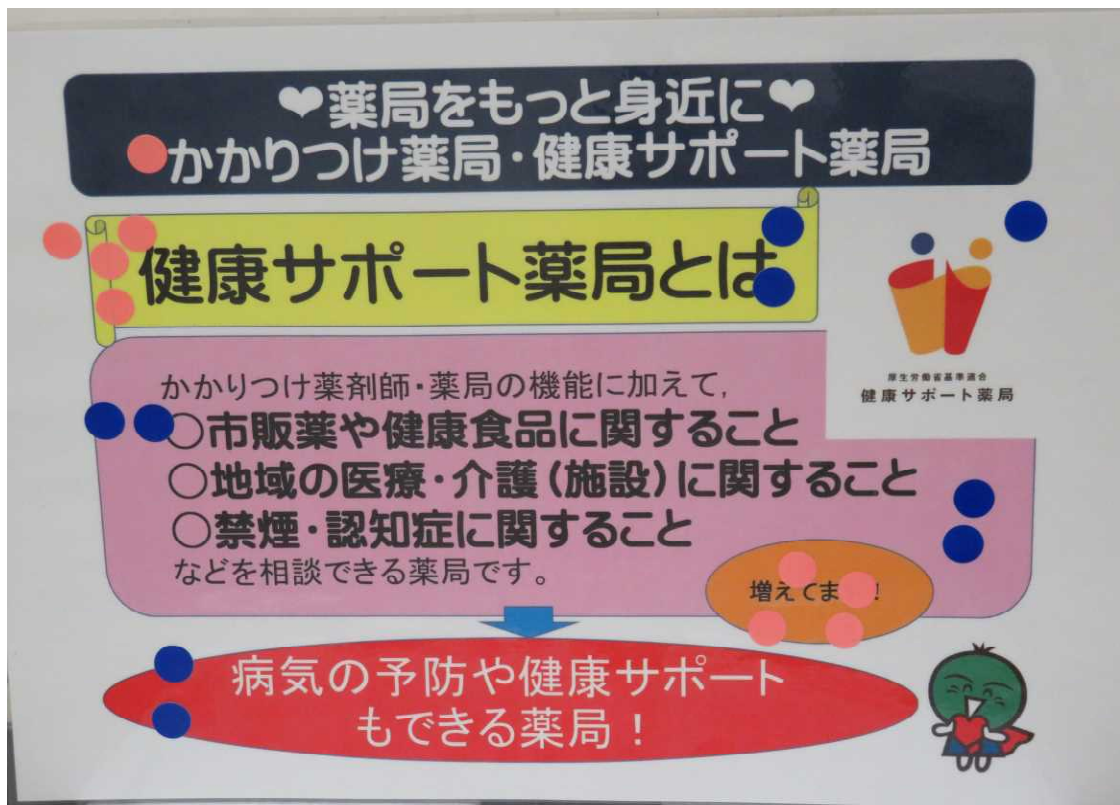
**ジェネリック医薬品を使うとこんないいことが！！**

- 日本全体の医療費を有効活用することができます。
- みなさんの行動が、国民皆保険の制度を守り、未来へつなげていくことにつながります。
- ジェネリック医薬品には、大きさや味などを飲みやすく工夫されているものがあります。
- 先発医薬品と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので薬の値段が安くなっています。

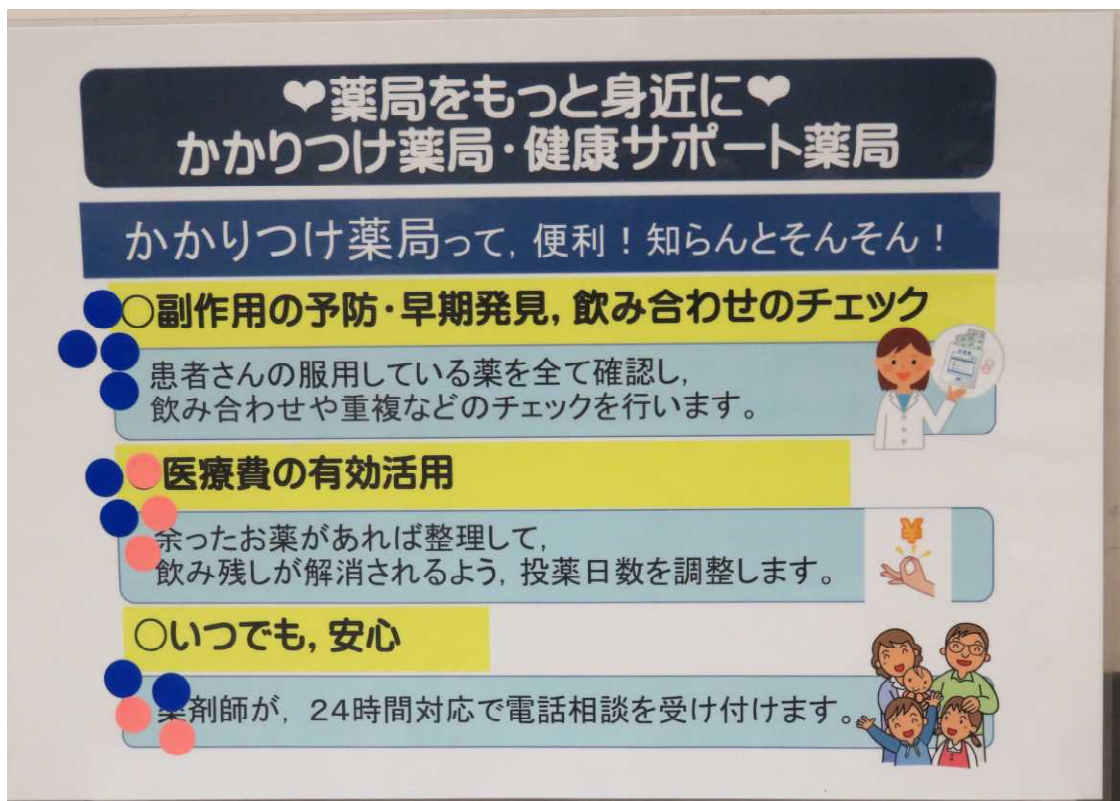
**ジェネリック医薬品を使ってみようと思ったら、主治医や薬剤師に相談しましょう。**

県民のみなさんへ  
伝えたい・知ってほしい **青のシール**●  
わかりにくい  
もっと詳しい説明が必要  
**ピンクのシール**●

(図36) A-2 ジェネリック医薬品



(図37) B-1 かかりつけ薬局及び健康サポート薬局



(図38) B-2 かかりつけ薬局及び健康サポート薬局



## VI 広告制作

### 1 広告媒体の検討

県民への調査結果や専門家からの意見をもとに、本調査研究の成果品として、広告を制作することとした。

県民へのアンケート調査結果では、「ジェネリック医薬品」「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」について知る手段として利用したいものとして、「新聞・雑誌」を利用したいと回答した人が最も多かったことから、広く県民へ周知・啓発するために、AからEの5種類の媒体を利用し、広告を行うこととした。

また、広告制作にあたっては、依頼業者に対し、今回の調査概要の説明を行い、県民への調査結果や専門家の意見を反映させるため、①から⑤の点をポイントとして制作した。

#### 【広告の媒体】

- |   |                 |             |
|---|-----------------|-------------|
| A | 新聞「徳島新聞」        |             |
| B | タウン誌「あわわ」       | フリーペーパー     |
| C | タウン誌「ワイヤーママ徳島版」 | 主要読者子育て中の女性 |
| D | タウン誌「タウトク」      | 主要読者20～44歳  |
| E | タウン誌「徳島人」       | 主要読者25～59歳  |

#### 【制作時のポイント】

- ① 県民がわかりやすいと感じた内容を入れる
- ② ジェネリック医薬品と先発医薬品の違いは、図で示す
- ③ 「徳島県がジェネリック医薬品の使用割合が全国最下位」であることを周知
- ④ 「かかりつけ薬局」の機能を周知
- ⑤ 「健康サポート薬局」の機能を周知

### 2 広告内容及び時期

- (1) 新聞「徳島新聞」 平成30年3月6日掲載予定 (図39)
- (2) タウン誌「あわわ」 3月号 平成30年2月25日発行 (図40)
- (3) タウン誌「ワイヤーママ徳島版」 4月号 平成30年3月14日発行
- (4) タウン誌「タウトク」 3月号 平成30年3月1日発売 (図41)
- (5) タウン誌「徳島人」 4月号 平成30年3月15日発売

# ジェネリック医薬品をもっと知ってください

国民皆保険制度を次の世代へつなげるために

医療費を減らし、みんなの負担が増えないように

**ジェネリック医薬品の使用割合が  
徳島県は全国最下位!! (H29.9月時点)**

効き目は同等!!

かかりつけ薬局の  
機能に加え、病気の予防や  
健康づくりを  
支援する薬局!

**「ジェネリック医薬品」については主治医や薬剤師に  
お気軽にご相談ください。また、かかりつけ薬局や  
健康サポート薬局を活用してください。**

- 副作用の予防・早期発見、飲み合わせの子エック
- 飲み忘れ等で余ったお薬の調整 など

**健康サポート薬局は、**

- ・市販薬、健康食品に関すること
- ・地域の医療・介護（施設）に  
関すること
- ・禁煙、認知症に関すること  
など 相談できます。

徳島県徳島市東区  
健康サポート薬局

**ジェネリック医薬品は安全?**

- ・ジェネリック医薬品は、  
国の厳しい審査をクリア  
したものだけが  
承認されています。

**ジェネリック医薬品  
を使うといいことは?**

- ・大きさや味が  
飲みやすく工夫されて  
いるものがあります。
- ・先発医薬品と  
同じ有効成分を使用し、  
研究開発にかかる  
費用と期間が抑えられるため、  
薬の値段が安くなります。

徳島県保健福祉部薬務課 TEL.088-621-2234 FAX.088-621-2842

(図39) 徳島新聞 平成30年3月6日

安心 信頼 お得

# 知れば納得！『ジェネリック医薬品』!!

**安心** 国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。

**信頼** 先発医薬品(新薬)と同じ有効成分を使用しているので、有効性・安全性・品質ともに同等です。

**お得** ●先発医薬品(新薬)と同じ有効成分を使用しているため、研究開発にかかる費用と期間が抑えられるので、低価格です。  
●大きさや味が飲みやすく工夫されているものがあります。



医療費を減らし、みんなの負担が増えないように国民皆保険制度を次の世代へつなげるため、「みんなが主役」です！

**徳島県は『ジェネリック医薬品』の使用割合が全国最下位！** (厚生労働省公表 平成29年9月時点)

『ジェネリック医薬品』については、主治医や薬剤師に気軽に相談してください。  
「かかりつけ薬局」「健康サポート薬局」を活用してください！

「かかりつけ薬局」は、こんな機能があります。

- 副作用の予防・早期発見、飲み合わせのチェック
- 飲み忘れなどで余ってしまったお薬の調整など



「健康サポート薬局」は、「かかりつけ薬局」の機能に加えて病気の予防や健康サポートもできる薬局です。

- こんなことも相談できます。
- 市販薬や健康食品に関すること
  - 地域の医療・介護(施設)に関すること
  - 禁煙、認知症に関することなど



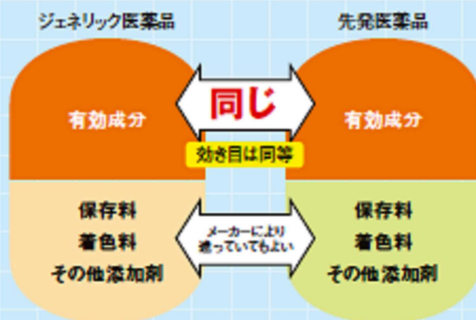
徳島県保健福祉部業務課 TEL.088-621-2234 FAX.088-621-2842

(図40) 「あわわ」 3月号



# もっと知ってください! ジェネリック医薬品

医療費を減らし、みんなの負担が増えないように  
国民皆保険制度を次の世代へつなげるため  
「みんなが主役!」です。



徳島県はジェネリック医薬品の  
使用割合が全国最下位なんです! (厚生労働省公表H29.09時点)

## ジェネリック医薬品って安全?

ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。

## ジェネリック医薬品のメリットは?

- 大きさや味が  
飲みやすく工夫  
されているものがあります。
- 先発医薬品と同じ有効成分を使用し、研究開発にかかる費用と期間が抑えられるため、**薬の値段が安くなります。**

ジェネリック医薬品については主治医や薬剤師にお気軽にご相談ください。

**かかりつけ薬局・健康サポート薬局を  
活用してください。**

- 副作用の予防・早期発見 飲み合わせのチェック
- 飲み忘れ等で余ったお薬の調整 など



### 健康サポート薬局は、

- ・ 市販薬、健康食品に関すること
  - ・ 地域の医療・介護(施設)に関すること
  - ・ 薬性、認知症に関すること
- など相談できます。



かかりつけ薬局の機能に加え病気の予防や  
健康サポートもできる心強い薬局です!

徳島県保健福祉部薬務課

TEL.088-621-2234 FAX.088-621-2842

(図41) タウン誌「タウトク」3月号

## Ⅶ まとめ（今後の展開）

---

今回は、新聞、タウン誌を活用した情報発信を行ったが、県民へのアンケート調査では、情報を知る手段として、テレビやラジオという意見も多かった。

また、ポスターについては、スーパーマーケット等量販店、駅・バス乗り場、健康スポーツ施設に掲示すると高い効果が得られると思われる。

あわせて、市町村広報誌への掲載だけでなく、タクシー、バス、JRの車内やバスの車体への広告掲載も効果があると思われる結果となった。

については、今回、県民へのアンケート調査を元に作成したフリップや広告で用いたキーワードを活用し、今後、ポスター、動画、チラシ等を作成をし、「ジェネリック医薬品の使用促進」、「かかりつけ薬局・健康サポート薬局の活用」について、効果的な情報提供を実施したい。

今回の調査では、

- ①受け手の「知りたいこと」をアンケート調査
- ②アンケート調査結果を基にフリップ作成
- ③イベント会場において、フリップの内容を見て、「印象に残った、わかりやすい、今回知った」点と「わかりにくい」点を対面で聴き取るアンケート調査を実施し、「薬の適正使用」という課題について、立場の異なる関係者（県民・行政）が情報を共有し、意見交換を行う「リスクコミュニケーション」を通じ、よりわかりやすく、心に訴える広報につながる取組みとなった。

「行政が伝えたいこと（フリップの内容）」を「受け手（県民）」と対話しながら、その印象を聴き取った結果、ジェネリック医薬品の使用促進が「国民皆保険制度を守り、未来につなげていくこと」や、かかりつけ薬局の機能として「余ったお薬を整理し、投薬日数を調整すること」などについては、口頭で補足説明を行うことにより、理解が深まったことも多かった。

広告などの限られたスペースでは、受け手に全てのことをわかりやすく伝えることが難しいため、「短い言葉で強く県民に印象づけられる内容」と「丁寧な説明が必要とされる内容」については、利用する情報提供手法にあわせて、選択することが重要であることを改めて認識した。

県民が受け入れやすい情報提供について調査を行った今回の結果は、情報を発信する側（行政、薬剤師等）にとり、多くの伝えたいことを効果的に伝える手法として、リスクコミュニケーションの手法が有用であることから、今後、関係者間でも情報共有を図りたい。

## VIII おわりに

---

「薬」は、逆さから読むと「リスク」であり、まさに、県民が薬を服用する際には、効果のみならず、副作用のようなリスクを伴うことがある。

薬全般の適正使用の観点からも、県民が薬のリスクを知り、患者負担の軽減や国民皆保険制度の維持の観点からジェネリック医薬品の使用を進め、かかりつけ薬局や健康サポート薬局を活用し、健康を保持していくことは、県民すべての課題であり、広報や情報提供が担う役割は大きい。

そのために、氾濫する多くの情報から選ばれ、県民の行動を変えるきっかけとなるような啓発、広報、情報提供を行うことが求められている。まずは、県民（受け手）側の視点で「知りたいこと」を把握した上で、行政が「伝えたいこと・知ってほしいこと」を加え、最終的に「わかりやすい」内容を「受け入れやすい」広報媒体を用いて情報発信することが重要である。

今回の調査のように、県民目線で、リスクコミュニケーションの手法を用いた取り組みが必要であると思われる。特に本事業は、県民の健康生活に大きく関わるだけでなく、国民皆保険制度の維持にも関わる重要なテーマであることから、今回の調査研究を活かし、県民の健康で安全かつ安心な生活の維持増進につなげていきたい。